



JA全農ながさき 肥料農薬レポート

2017年4月号 No.265

回 覧	部(支所)長	課 長	担 当

水稻除草剤の基礎知識

いつもお世話になっております。水稻の田植えの時期が近づいてまいりました。水稻栽培において安定した収量を確保するには水稻の雑草防除は必要不可欠となっております。

そこで、肥料農薬レポート4月号では、除草剤の基本的知識を紹介していきます。

●雑草の生理生態

雑草の種類として

- ・1年生雑草 → イネ科・・・ノビエ
広葉（イネ科以外）・・・コナギ等

- ・多年生雑草 → イネ科・・・キシュウスズメノヒエ
広葉・・・オモダカ、クログワイ等

雑草は次世代の発生器官として種子だけを残すものを一年生雑草、種子以外の地下茎や根を発生源として残すものを多年生雑草という。特に多年生雑草は種子以外も発生源として残すので難防除となっている。

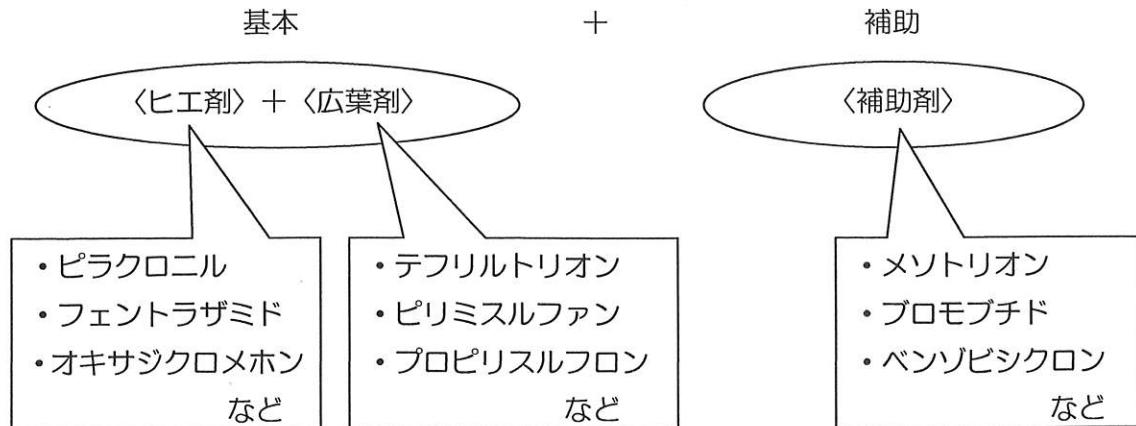
～除草期間として～

一般的に作物は播種後または植付後一定期間除草を行えば、その後に発生する雑草は作物の抑圧力、特に茎葉の遮光で生育が著しく抑えられるため雑草害は少なくなる。

●水稻除草剤の構成について

除草剤の基本的構成について紹介します。

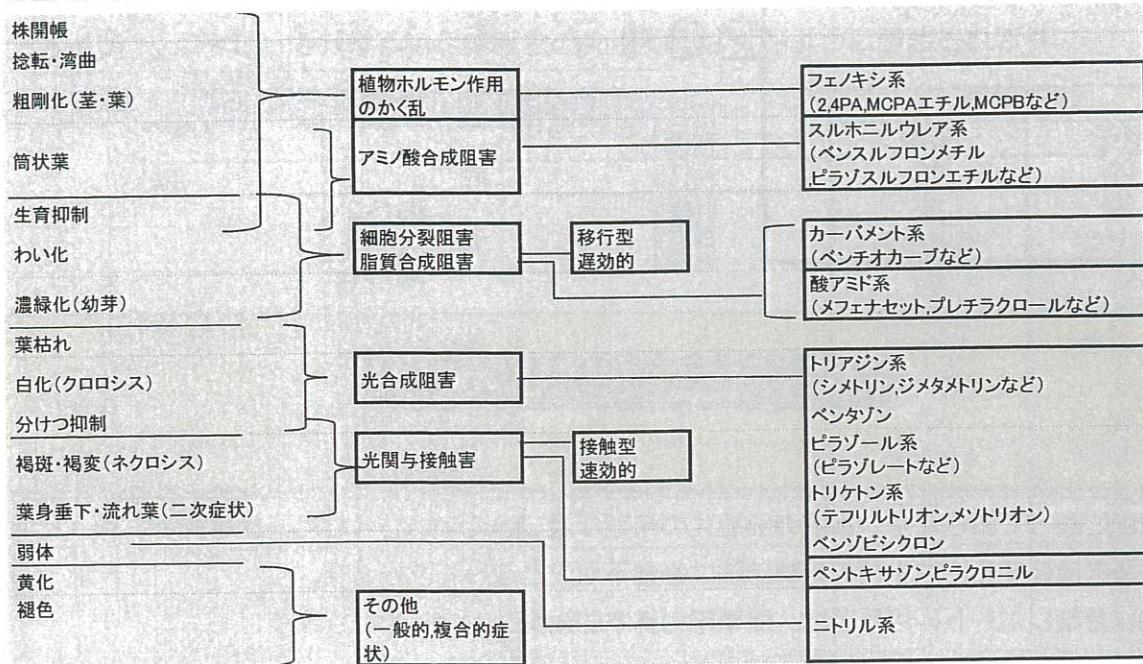
除草剤は単剤、2種混合剤、3～4種混合剤で構成されている。



*SU 抵抗性雑草・特殊雑草などに効果がある成分を追加

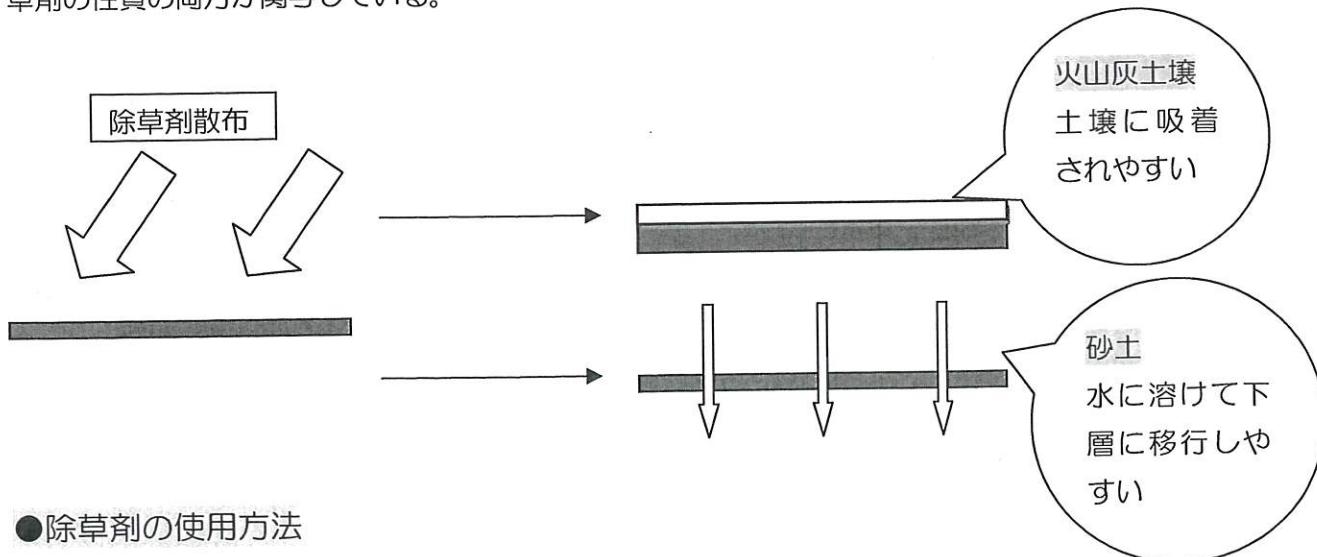
私たちJAグループは“無登録農薬”は扱いません！

●水稻除草剤の主要害徴と作用点の関係



●除草剤の特性について

除草剤の効果は土壌との関係が深く、土壌表層あるいは土中に処理された除草剤は蒸気圧の高い一部のものは蒸気となって拡散するが、普通は水によって移行する。移行の程度には土壌の性質と除草剤の性質の両方が関与している。



●除草剤の使用方法

除草剤の使用時期

移植栽培

- 初期剤：ノビ工を含む種子発生の雑草の発生前後で効果の高い単剤または混合剤である。なお、散布時期については移植前のみと移植前後に散布できるものがある。
 - (1) 代かき時（移植4日前まで）例：デルカット乳剤（土壌混和）
 - (2) 代かき後～移植7日前まで、または移植時
- 中期剤：主に初期剤との体系処理で、生えそろった雑草をたたく混合剤である。
- 一発剤：雑草の発生前から生育期に使用でき、中期剤に比べ残効が長く、多年生残草にも効果が高い混合剤である。
- 中後期剤：一発剤や中期剤で防除しきれなかった雑草を防除する。

Q&A

～相談～

水田における雑草クログワイやオモダカの除草方法で、水稻の収穫後に行う対策があれば教えてください。

～回答～

クログワイやオモダカは、地中に翌年の発生源になる塊茎を形成します。水稻刈取以降は水稻との光競合がなくなり、塊茎形成が特に盛んになるため、本田防除だけでなく収穫後の対策も重要です。

塊茎形成を防止するためには、刈取後そのままの状態で放置しないで、ラウンドアップマックスロードなどの茎葉処理剤で雑草の残存株を枯らすか、耕起作業により残存株の生育を妨げることが有効です。但し、水稻収穫後の気象条件によっては、刈取後の雑草の再生が緩慢な場合もあるので、このような場合には、水稻を高刈りして雑草の緑色部分をより多く残すようにして茎葉処理剤を散布する方法が有効です。

また、すでに形成されてしまった塊茎や前年以前に形成された塊茎には、低温と乾燥に弱い塊茎の特性を利用して、耕起作業により塊茎を地表面に露出させて、冬の低温と乾燥で死滅させることも有効です。但し、塊茎は低温だけでは死滅しないので、積雪などにより冬期に乾燥しない条件の場合には、このような耕起作業の効果はあまり期待できないのでご注意ください。

●除草剤を安全に使用・効果を引き出すために

- ・水稻の栽培条件および雑草の発生条件に適した薬剤を選ぶ
- ・薬剤ごとに定められた使用法（登録表示、使用基準など）を厳守し、特に使用時期、使用方法に注意する
- ・周囲の環境条件について配慮を行う（水田に隣接する作物や主要河川に近い場所では魚毒性や水質保全に十分注意する）
- ・低温時・高温時の使用には十分注意する
- ・均一散布を心がける
- ・丁寧な代かきを行う
- ・水管理を適切に行う

●水稻除草剤の登録緩和について

平成27年1月1日以降に登録する水稻除草剤は全国2年6例以上の試験事例にて登録申請が可能になり全国一律での登録となったため、薬効・薬害試験を実施していない地域でも、農薬取締法上は使用可能です。これまで地域限定の薬剤でも、農薬卸商ルートや通信販売等により入手可能になります。

したがって、指導者が知らない剤（本県にて試験未実施の剤）を農家が使用したり、適用地域や作期（早期・普通）、土壤（特に砂壌土）に関する注意が見落とされたり、九州の試験事例がないものについては薬害発生の可能性があるので注意が必要です。

《県病害虫防除所の最新情報》

平成28年度病害虫発生予報第12号

向こう1カ月における主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

【予報の概要】

農作物名	病害虫名	発生程度	
		現況	予想
麦類	うどんこ病	並	並
きゅうり	ベト病	並	並
	うどんこ病	やや少	やや少
	褐斑病	少	少
	菌核病	並	並
	灰色かび病	やや少	やや少
	ミナミキイロアザミウマ コナジラミ類	やや多 並	多 並
トマト	黄化葉巻病	やや少	やや少
	灰色かび病	並	並
	コナジラミ類	並	並
いちご (本圃)	うどんこ病	並	並
	灰色かび病	並	並
	アブラムシ類	並	並
	ハダニ類	多	多
たまねぎ	白色疫病	並	並
	ベト病	やや多	多
	ネギアザミウマ	少	少
かんきつ	そうか病	やや多 (越冬病斑)	やや多
	かいよう病	やや少 (越冬病斑)	やや少
	ミカンハダニ	やや少	やや少
果樹共通	クワゴマダラヒトリ	やや少	やや少
茶	カンザワハダニ	やや少	やや少

JAグループ「安全防除運動」展開中

◎農産物の安全……今、消費者がもっとも願っている「食の安全」。

それは私たち生産者の願いでもあります。きちんとした農薬を選び、正しく使って、日誌に記録を残す。これを続けることが、消費者に信頼される農産物づくりにつながります。

- ・使うのは、もちろん登録農薬！
- ・安全使用・事故防止へ、ラベル確認を習慣に！
- ・使用後も、防除日誌で“安全証明”

◎環境の安全……土や水といった自然の恵みを利用して営まれている農業。皆さんが守り続けてきた大切な田畠を、次の世代に残すためにも、自然環境に十分配慮した農薬散布を心がけましょう。

- ・必要量だけ希釈し、使い切る。空容器は適正処理を！
- ・水稻除草剤の散布後は、圃場外への流出防止策を！

◎農家の安全……軽装備による散布中の事故や子供の誤飲事故が増えています。いくら周辺の環境に配慮しても自身の健康を害しては何にもなりませんし、周辺住民との信頼関係を築くためにも農薬の保管管理にはいっそ注意したいものです。

- ・暑さに負けるな。完全防備！
- ・使用後は“薬の戸締り”万全に！

散布するときは、マスク、メガネ、手袋をきちんと、つけましょう。



農薬適用拡大情報（園芸剤）

本情報は、農業指導場面において有効にご活用いただくために、各農薬メーカーから頂いた情報を集約して提供しております。内容については確認が行き届かない場面もありますので、ご活用の際は、必ず登録内容をご確認の上、ご指導・ご使用のほどよろしくお願ひいたします。

平成29年2月21日～3月20日
に拡大した情報

農業名	作物名	変更箇所	変更年月日	メーカー名
ベルクートプロアブル	かぼちゃ	【作物名の追加】 作物名：かぼちゃ 適用病害虫名：うどんこ病	2017年1月11日	サンケイ化学
	チューリップ	【作物名の追加】 作物名：チューリップ 適用病害虫名：褐色斑点病		
ジャストフィットプロアブル	たまねぎ	【使用法の追加】 「たまねぎ(バと病)」に「無人ヘリコプターによる散布(24倍、1.6L/10a)」を追加	2017年1月25日	クミアイ化学工業 バイエルクロップサイエンス
ディアナSC	いちご berman なばな類 カリフラワー こまつな りんどう 非結球アブラナ科葉菜類	【適用病害虫追加】 いちご：コナジラミ類、クロバネキノコバエ類 berman：ハスモンヨトウ なばな類：ハスモンヨトウ カリフラワー：アサミウマ類、オムシ こまつな：アサミウマ類、オムシ りんどう：コナジラミ類 【作物名変更】 非結球あぶらな科葉菜類を非結球あぶらな科葉菜類（こまつな、チングンサイを除く）及びこまつなに変更	2017年2月22日	協友アグリ 住友化学
シグナムWDG	いちご	【希釈倍率の変更】 作物名：いちご 適用病害虫名：灰色かび病 希釈倍数（変更前）1,500倍（変更後）1,500～2,000倍に適用拡大	2017年2月22日	BASFジャパン
ネクスターPROアブル	いちご	【新規登録】 作物名：いちご 適用病害虫名：うどんこ病	2017年2月23日	日産化学工業
	トマト、ミニトマト	【新規登録】 作物名：トマト、ミニトマト 適用病害虫名：うどんこ病、葉かび病	2017年2月23日	
	なす	【新規登録】 作物名：なす 適用病害虫名：すすかび病	2017年2月23日	
	きゅうり	【新規登録】 作物名：きゅうり 適用病害虫名：うどんこ病、褐斑病	2017年2月23日	
	メロン	【新規登録】 作物名：メロン 適用病害虫名：うどんこ病、つる枯病	2017年2月23日	
	レタス	【新規登録】 作物名：レタス 適用病害虫名：すそ枯病	2017年2月23日	
	はくさい	【新規登録】 作物名：はくさい 適用病害虫名：黒斑病	2017年2月23日	
	キャベツ	【新規登録】 作物名：キャベツ 適用病害虫名：株腐病	2017年2月23日	
	りんご	【新規登録】 作物名：りんご 適用病害虫名：黒星病	2017年2月23日	
	なし	【新規登録】 作物名：なし 適用病害虫名：黒星病、輪紋病	2017年2月23日	
	もも	【新規登録】 作物名：もも 適用病害虫名：黒星病	2017年2月23日	
	小粒核果類	【新規登録】 作物名：小粒核果類 適用病害虫名：黒星病	2017年2月23日	
	かき	【新規登録】 作物名：かき 適用病害虫名：うどんこ病	2017年2月23日	
	ぶどう	【新規登録】 作物名：ぶどう 適用病害虫名：うどんこ病	2017年2月23日	

農薬名	作物名	変更箇所	変更年月日	メーカー名
フルピカプロアブル	すいか	【作物名の追加】 作物名：すいか 適用病害虫名：うどんご病	2017年2月23日	クミアイ化学工業 日本曹達
	ピーマン	【作物名の追加】 作物名：ピーマン 適用病害虫名：うどんご病	2017年2月23日	クミアイ化学工業 日本曹達
モレスタン水和剤	かんきつ (みかん除く)	【作物名の追加】 作物名：かんきつ（みかん除く） 適用病害虫名：ハダニ類 チヤノホコリダニ、ミカンサビダニ	2017年2月23日	サンケイ化学
	共通	【注意事項の変更】 (変更前) みかんの盛夏高温時での散布は薬害を生じるおそれがあるので使用を避ける (変更後) かんきつの盛夏高温時での散布は薬害を生じる可能性があるので使用を避ける		
トレボン乳剤	ブロッコリー	【作物名の追加】 作物名：ブロッコリー 適用病害虫名：アオムシ	2017年2月23日	クミアイ化学 三井化学アグロ サンケイ化学
	ほうきぎ	【作物名の追加】 作物名：ほうきぎ 適用病害虫名：ホウキギツツミノガ	2017年2月23日	
	きび	【作物名の追加】 作物名：きび 適用病害虫名：アカスジカスミカメ	2017年2月23日	
	あわ	【作物名の追加】 作物名：あわ 適用病害虫名：アワトウ	2017年2月23日	
テロン	こまつな みずな チンゲンサイ	【作物名の変更】 (変更前) 「こまつな」、「みずな」、「チンゲンサイ」 (変更後) 「非結球あぶらな科葉菜類」	2017年2月23日	サンケイ化学
	豆類（未成熟、ただし、えだまめ、さやいんげんを除く）	【作物名の追加】 作物名：豆類（未成熟、ただし、えだまめ、さやいんげんを除く） 適用病害虫：ネコブセンチュウ、ネグサレセンチュウ、コガネムシ類幼虫		
ジーフайн水和剤	さといも	【作物名の追加】 作物名：さといも 適用病害虫：疫病	2017年3月8日	協友アグリ サンケイ化学
ライメイプロアブル	レタス、 非結球レタス	【希釈倍数変更】 作物名：レタス、非結球レタス 適用病害虫名：ベト病 病希釈倍数：(変更前) 2000倍 (変更後) 2000～3000倍	2017年3月8日	日産化学工業
ダニトッププロアブル	茶	【適用病害虫名の追加】 作物名：茶 適用病害虫名：チャトゲコナジラミ	2017年3月8日	三井化学アグロ
ピカットプロアブル	なす	【適用病害虫名の追加】 作物名：なす 適用病害虫名：灰色かび病	2017年3月8日	三井化学アグロ